2001年，21世紀のスタート
ASAHIYAMA Zoo

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

あけまして おめでとうございます

昨年の暮れで20世紀が終り、21世紀が始まりました。みなさんも、いつもの新年とちがった特別な気持ちでお正月を迎えたことと思います。また、それぞれの学校でも気持ちの引き締まった特別な始業式になったのではないでしょうか？

21世紀のスタートの一年がすばらしい年になりますように旭山動物園の職員もはりきっています。

・北の野鳥のオオワシをはじめ可愛い人気者のレッサーパンダ
・さる山のニホンザル・もうじゅう館のアムールトラ・ゴマフアザラシ・ホッキョクグマ・シロサイ・ゾウ・キリン・子ども牧場のなかまたちも皆さんの来園をお待ちしております。

1月12日(金)から始めました

一月14日は、21世紀開園、初めての日曜日でしたが午前十一時から午後一時三十分までの、わずか二時間三十分という短い間に1,042人もの入園者を迎え大変なにぎわいでした。

人気No1はやはり、ペンギンだったように感じました。でも見ることもできます。ぜひ、みんなで会いにきてあげてね！

3月27日(火)までです

旭山動物園のボールニシキヘビ　爬虫舎にいます

巳年のスタートなのに爬虫舎を見ることができないのは残念ですが子ども牧場にきてくれるとアオダイショウのアオちゃんには会えます。そのほか、カメのなかまのホルスフィールドリクガメを見ることもできます。ぜひ、みんなで会いにきてあげてね！

入園時間は
午前11時～午後1時30分です

四月の開園日からは、爬虫舎のヘビも見ることができます。

★ 爬虫舎には、5種17点
・アメリカアリゲーター　(3)
・ニューギニアヘビクビガメ　(1)
・インドホシガメ　(2)
・ボールニシキヘビ　(4)
・グリーンイグアナ　(2)
・オマキトカゲ　(5)

の動物たちがいて、暖かくなる日を待っています。

毎週水・木は休園日です

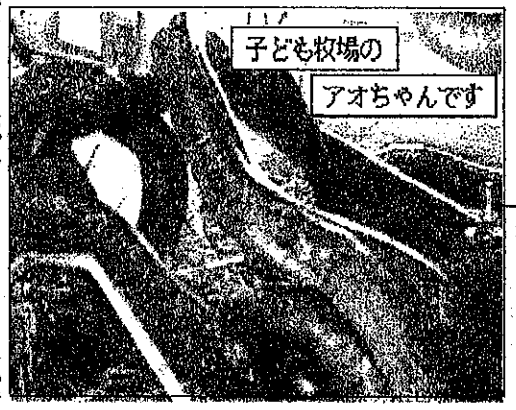
子ども牧場の動物たち　（No 14）

（くわしくは、来て、しいくがかりの人に聞こう。）

アオダイショウ（有鱗目・ナミヘビ科）

北海道、本州、四国、九州、および国後島、伊豆諸島、対馬、薩南諸島に生息します。

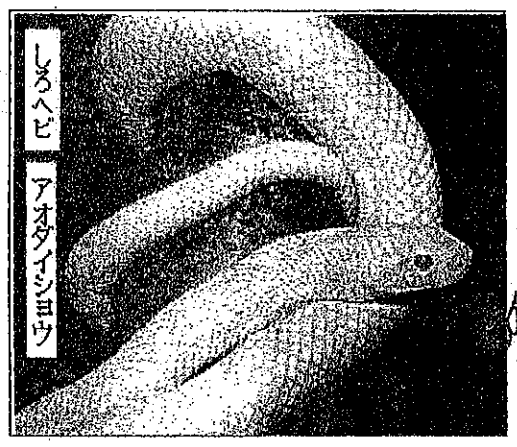
全長、一mから二、五mくらいですが、最大三mほどに成長することがあります。この仲間は、日本産ヘビ類では最大で、吻部はやや幅広く、大鱗列数は胴の中央部で23列あります。


子ども牧場のアオちゃんです

眼の虹彩は黒褐色で、シマヘビのように赤褐色ではありません。

昔から穀倉をネズミの被害から守るため保護してきました。とくに、白化型（アルビノ）のシロヘビは神の使いとされ、岩国（山口県）では、国の天然記念物に指定されています。

しろへびの「由来」


しろへび　アオダイショウ

しろへびは、アオダイショウの白化個体（アルビノ）です。いろいろな動物にも白化個体が見られますが、とりわけヘビのなかまには多くの種から知られています。

生活上、日光浴をする必要の高いトカゲなどでは、白ければ天敵による発見が容易になって淘汰され易いのですが、直接に太陽光線で体温調節をあまり行わないヘビでは、眼が赤く視力の弱いアルビノであっても天敵などに襲われることが少なく、アルビノの遺伝子の存在頻度が高いと考えられているのです。

アルビノは、日本でも、アオダイショウ・シマヘビ・ジムグリ・ヤマガカシ・ガラスヒバアメハブなど多くの種類から発見されています。

なかでもアオダイショウのアルビノは「しろへび」として多くの人々に知られてきました。

白いヘビを神の使いとする白蛇信仰は各地にみられ、その御本尊となったこともあるであろうとされています。

偶発的に発見され、珍しいものだから高貴さをつよく感じた面などが白蛇信仰のみちへと進んだと考えられています。

アオダイショウは元来、人家付近に多く棲みネズミなどを常食するため、人々にとっては、とてもありがたく感じこのような影響を受けやすかったとも考えられています。（日本動物大百科より）

・ニホンマムシ・ホンハブ・ヒメハブなど多くの種類から発見されています。

ぜひ、聞きにきてください。

子ども牧場のワンポイントガイド

昨年から子ども牧場でもワンポイントガイドをしています。

・月曜日　＝　ヤギ
・火曜日　＝　イヌ（ビーグル）
・水曜日　＝
・木曜日　＝　休園日
・金曜日　＝　アオダイショウ
・土曜日　＝　ハリネズミ
・日曜日　＝　ハムスター

ぜひ、聞きにきてください。